

**ハウルのデビューは
2014年**

ビーチウォーカーハウルが発売となつたのは2014年夏。当時のヒラメアングラーへのインパクトは相当なもので、この年から約2年間はあまりの人気ぶりに常に品薄状態が続いていた。アングラーディレクターによると、デュオ本社の要求生産体制を増強してフル稼働。それでも需要になかなか追いつかず、一時は交代制まで導入して生産を続けていた。

堀田「あの時は本当に驚きました。売れるということは、それだけハウルを待つているアングラーが多いということ。瞬間

最大風速的な人気ではなく、2年近くはその状態が続きましたから、ハウルってすごいルアーダんだと、こちらが勉強になりました。

そもそも「ハウル」というルアーを作ろうというキッカケは何だったのか。

堀田「それまでヒラメ狙いでワームの釣りといえば、通常の上向きフックのジグヘッドか、付きのジグヘッドを使うしかありませんでした。とくに後者はワームが真っ直ぐ刺せないために投げるとクルクル回転してボヤヤンと落ちる程度のもので、浮き上がりにくさとともに含め、使用時にストレスが多くて、メインで使うにはちょっと厳しい感じ(笑)。でも釣り人の心理としては、ワームって良く釣れるので、できればメインで使いたいんですよ。だから誰が投げてもよくなんて、レンジキープもしっかりでき、自分も洗練されたモノが欲しかったんです」。

無茶振りからのスタート

堀田「そうです。ハウルの発売は2014年ですが、開発は前年13年から開始している。実は2013年の時点でのワーム製造にも乗り出しました。そこで、堀田さんは自分がプロデュースして、どんな何かがプロデュースしてよ、というのが経緯。でも、高価な製造機械を導入するわけではありません。今でこそデュオのワームは一般化していますが、当時は前例がない。要はトップバッターです。受け入れられる(売れる)かどうかなんて、まるでわからない状態。売れなかつたら、費用掛けている分、会社として損害ですよ。何で二作目を自分で無茶振りするんだよ。それがなぜかならない存在でした。それが性能的、機能的に生まれたのです。それが性能力能的、機能的からこそこそ完成されているからこそ、だと思いませんね。周囲への影響ということも含め、やはり

すでに定番化しているハウルシリーズ

原点的な性能こそ支持される理由

堀田「現在でもハウルはすごく認められて、現在に至るわけですが、堀田自身は、ハウル人気をどう見ているのか。ハウルは自分が釣れる、便利なルアーの本質。そんなところが長きに渡って支持され続けています」。

**Beach Walkerとは
[ビーチウォーカー]**

ヒラメを狙うためだけに生まれたシリーズ。ヒラメを獲るためにスペックを凝縮し、いつでも同じ商品が数多く発売されています。そこで、ヒラメを狙うためだけに生まれたシリーズ。ヒラメを獲るためにスペックを凝縮し、いつでも同じ商品が数多く発売されています。

DUO International

発売から8年、未だに全国各地で猛威を振るう ビーチウォーカーハウル

歩みを振り返ることともに、
支持され、愛される理由に迫る

使いこなし術 ハウル

堀田光哉の

ハウルを知れば、もっと釣れる!

¥0

ご自由にお持ち帰りください

DUO International

Beach Walker

ハウルって、どんなルアー？

A. 誰にでも簡単にヒラメが釣れる

発売から8年が経過し、全国各地の非常に多くの釣り人に愛用されており、その実績と人気はダンツNO1。この釣りをする人なら、1個は持っていると言われるほど実績と信頼のあるルアーだ。その秘密は誰が投げても遠くまで飛ばせ、ヒラメがエサを追うレンジ(泳層)をしっかりと通せるこど。加えて、リールを巻くだけでワームのナチュラルで艶かしいアクションが発生し、気難しいヒラメの食い気を誘ってくれる。そんなスーパーなルアーコソ、ビーチウォーカーハウルだ。



※使用時の注意事項

前のフックは軽くボディ下部に刺しておく。後のフックについている半固定用チューブを写真のような状態にセットする。これでセット完了。トラブルが軽減されるのだ。

3インチ	リング/#2.5 フック/#8
4インチ、5インチ	リング/#3 フック/#5
グラブ	リング/#3 フック/#5

A. ハウルヘッド+ハウルワームの組み合わせ

先端の金属製のヘッドと柔らかなワームの部分は別々のモノ。写真は組み合わせた状態。通常、この状態で販売されている。しかし釣りをする中でワームが破損することがある。そんなときはワームを交換するのだ。専用のワーム（3つの長さのハウルシャッド、ハウルグラブ）と交換することができる。他にヘッドのみ（14g, 21g, 27g, 35g）の販売もあり、ワームと自由に組み合わせ、自分だけのオリジナルハウルを作ることができる。



A. ハウルには種類がある

小型サイズの3インチ。基準サイズの4インチ、大きくて目立つサイズの5インチ。これらはいずれもテール(尻尾)がブルブルと左右に動くシャッドテールタイプ。テール(尻尾)の形状が薄くて大きいグラブタイプを入れて4種類。それに重量が異なる5タイプのヘッド（14g, 21g, 27g, 31g, 35g）があり、合計20種類の組み合わせが可能。（種類選びは5,6ページ）



サイズによって
テールの形状が異なる
こだわり設計。



4
インチ

3
インチ

5
インチ

グラブ

半固定用チューブ

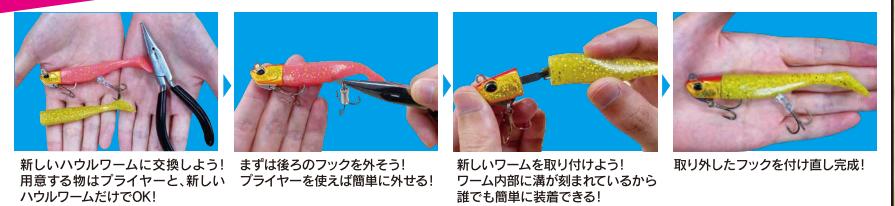


後ろのフックを固定しないと着水時にリーダーと絡んだり、飛行姿勢が乱れたりと何かとトラブルの元となる。必ずチューブをリングとプレートを覆うようにセットして半固定しよう。

ハウルの大きな特徴

- 安定した飛行姿勢と飛距離
- フッキングしやすくバレにくい
- ボディ全体でのワイドロールアクション
- よく釣れる！

ハウルセットの交換手順



新しいハウルワームに交換しよう！
用意する物はプライヤーと、新しい
ハウルワームだけでOK！

まずは後ろのフックを外そう！
プライヤーを使えば簡単に外せる！

新しいワームを取り付けよう！
ワーム内部に溝が刻まれているから
誰でも簡単に装着できる！

取り外したフックを付け直し完成！

釣果への 最短距離的な 使い方

おすすめタックル

タックルはサーフで使うことを想定したモノが扱いやすく、上達も早い。ロッドの長さは好みだが、身長が高いほど、リーチを生かして振り切るために長めが良い。迷つたら10.8ftのM+調子がいい。リールは竿の長さのハラーンスから4000番一択。ハイギア、エクストラハイギアなら尚更良い。ラインはPE1号、リーダー5号が標準的。結束は堀田式FGノット(YouTube参照)。PEラインは150m巻きたと選択して切れてしまった時に、ライン量が足りずに遠投できなくなるために200m巻き込んでおこう。

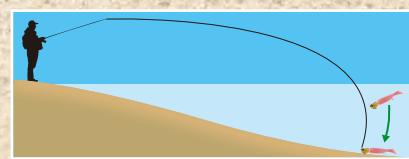


釣れるハウルの使い方 簡単最強テクは **ストップ&ゴー**

ハウルが横に移動しながらアクションするゴー。ストップすれば、ハウルは縦に沈下しながら着底に向かってアクションする。ストップ&ゴーは進行方向の異なるアクションを一度のキャストで試せるために、効率よくヒラメの食い気を誘えるのだ。まずはストップ&ゴーを覚えて多用したい。

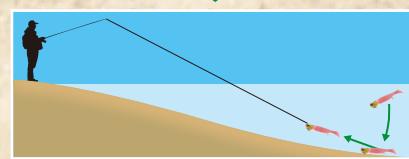
必ず着底させる

ハウルが海底に着いた状態(着底)からスタート。キャスト後はラインを張った状態で、ハウルが着底するまで待つ。このとき張ったラインを目で追い、緩んだら着底の合図。手元にコツンと着底の衝撃が伝わることもある。竿を水平から斜め上に構え、すぐにリールのハンドルを回し、ステップ2へ移る。



ただ巻きスタート

リールのハンドルを早めに3巻きほど回し、ハウルを横方向へ泳がせる。ハウルは海底から徐々に斜め上方向へ向かい、数メートルほど泳ぐのだ。この巻きはじめて食つてくることがあるから、重みを感じた場合はすぐにアワセを入れる。ハンドルの回転数は3~6回ぐらいで十分。自分のリズムで決めれば良い。



ハンドルを止める

STEP2の後、巻く手をピタッと止めてストップを入れる。すると、斜め上方向に泳いでいたハウルは、ラインを引つ張りながら着底へ向かう。着底待ち、ラインが緩んだところで、ステップ2へ戻る。以降、ステップ2→ステップ3を足元まで繰り返す。着底寸前でヒラメが食ってアタリが出ることが多い。



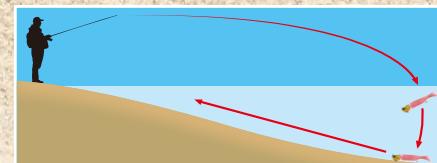
堀田式FGノット



覚えておきたいアクション

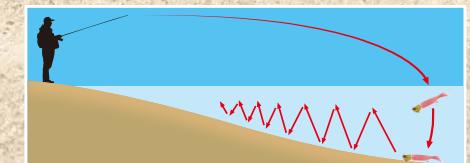
アクション1 ただ巻き

キャスト後の着底から、海底を引きずらない程度(ゴツゴツした感触がない)のスピードでリールを巻いてくるだけ。竿先を水平から斜め上にして構えた状態で行なうことが大事。



アクション2 ジャーク&フォール

キャスト後の着底後、竿を水平位置から勢いよく振り上げ、垂直に立てたままの状態でハウルの着底を待つ。着底後、竿を水平に戻しながら糸のたるみを巻き取り、再び振り上げる。



どのハウルを選べばいいの?

21gのシャッドかグラブが基本。

基本となる21gを使ってから判断する。距離が十分でなければ27gや31gを使う。流れが強かったり、足場が高く、深い場所では35g。手前にヒラメやベイトがいる状況なら14gを選びたい。シャッドかグラブかは好み。サイズは4インチを基準に、食いが悪そうなら3インチに変更。手前狙いや浅場狙いなら5インチを使おう!

全国各地から届く喜びの声



最初の1枚を
ハウルで
釣りました!

千葉県 Kさん



サーフ
フィッシングに
ハマった
きっかけです!

鹿児島県 Mさん



ハウルしか
勝たん!
口ケでも
絶賛活躍中!

東京都 Tさん

ハウル(セット) の カラーインナップ

釣りのベースとなる3色



フルレッド/堀田ゴールドG

赤のヘッドとクリアゴールドラメのコントラストが効果的。その実績ゆえに釣れる人気カラーとして君臨している。

※●印はグローカラー グロー系 発光イメージ



ヒラメゴールド/
ヒラメゴールドG



アカキン/
堀田ゴールドG



コガネアジ/
グロー



ブルーパック/
バールホワイトS



ツレギス/グロー

全体的に見ればバール系(グロー)であり、ピンク、ゴールドと異なる色。別物としてアプローチできるように用意しておく。



ピンクイワシRB/
バブルガムピンクG



ピンクゴールドOB/
バブルガムピンクG

フルピンク/ピンクグロー

定番中の定番色。ヒラメ狙いといえばピンクカラーが筆頭。ローテーションのメインとして常備しておきたい。



ブルーパック/
クリアブルーS

ラメ感が強く、比較的ペイトフィッシュに近いカラーであり、メインカラーとも色目が異なる。目先を変えて食わせる効果がある。

困った時のお助けカラー



シャッドとグラブの違いを知ろう

テール(尻尾)の形状が異なれば、アクションの質、強さや発する波動に大きな違いが出る。シャッドのテールは厚みと塊感のある形状だけに、左右に大きく動き、発する波動も強くて大きい。グラブのテールは薄く、細長い形状であり、ヒラヒラと水になびくような優しい動きと波動を発生させる。両方のタイプを持つていれば、片方で反応がない時のフォローとして使えるため、できればシャッドとグラブを用意しておきたい。

ハウルセット
全10色
14g, 21g, 27g,
31g(3インチ除く)

全10色

ヘッドラインナップ

ヘッド重量/14g, 21g, 27g, 35g
※●印はグローカラー



ヒラメゴールド

ピンクイワシRB



コガネアジ



ツレギスGB



フルピンク



ブルーパック



アカキン



フルレッド



ピンクゴールドOB

ワームラインナップ

シャッド/3インチ、4インチ、5インチ
グラブ/4インチ ※●印はグローカラー

全15色



Shad Grub Shad 3"

バールホワイトS

堀田ゴールドG

Shad Grub Shad 3"



グロー



バブルガムピンクG

クリアレッドS



クリアブルーS



ヒラメゴールドG

ピンクグローR



チャートグロー



クリアピンクG

ライムグリーンG



ツートンカラー(ワームのみ販売)



堀田ピンク

堀田チャートグロー



堀田ブルピン



堀田ブルピン

実は…

こんな魚もターゲット

シーバス クロダイ マゴチ タチウオ

サワラ(サゴシ) ブリ、ワラサ

ハウルは射程圏内ならば、さまざまな種類の魚がターゲットとなる。シーバスやクロダイ、マゴチなどは、ただ巻きやストップ＆ゴーなどのヒラメ狙いの外道として、よく釣れる。他にも、タチウオをグロー系ハウルで狙うアンガラーが多い。アタるだけで掛かりにくいサゴシもハウルなら素直にヒットに導けることも珍しくないのだ。何か釣りたいと考えた時、またいろんな場面でハウルを使ってみると、バラエティーに富んだ釣果が期待できる。

